

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース

“黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
〒271-0092 松戸市松戸 1834- 5 小川ビル 2階
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

借り上げ住宅支援の終了する避難者の皆様へ

1. 交流プロジェクト独自事業

福島県の帰還事業の制約のある中で、出来ることを始めました。

①松戸市住宅政策課に避難者の皆様とお話を聴きに行きました。

温かく迎えて頂きました。概要は以下の通りです。

- ・故郷に住民登録があっても応募可能(現在応急仮設住宅にお住まいの方・世帯の収入が市で定める基準内であること)
- ・独自に作成したチラシ(不動産事業社・市民へのお願い)をもとに宅地建物取引業協会に働きかけをしてくださることになったこと。
- ・詳細は、下記の電話にお問い合わせください。

収入計算に限らず、悩んだり、疑問があったら先ずは問い合わせてくださいとのこと。(紙面の都合で書ききれないこともあります)

松戸市役所街づくり部住宅政策課 : 047-366-7366

②不動産事業社・市民の皆様へのお願いのチラシ作成と配布

・空きアパート・空き家のご紹介をお願いする

不動産事業社の方・市民の方、よろしくお願ひいたします。

避難者の皆さんは、急を要しています。

市民の皆様も情報をサロンにお寄せ下さい。

③引き続き避難者と一緒に置かれた現状を行政に伝えて行く
自主避難者の皆さんは、応急借り上げ住宅の延長、又は他県の事例のごとく公営住宅に優先入居できることを願っています。避難先の都道府県によって、打ち切り後の支援の方法(公営住宅優先入居・敷金の扱い・契約手数料など)が違うことに矛盾を感じます。避難元は、皆さん同じ福島県なのに・・・です。

住宅その他相談日:毎週金曜日要予約 090-9963-8980 古宮

2. 福島県賃貸住宅等家賃補助事業を利用の場合

・収入計算は、複雑です。自己判断せず、分かる方に計算してもらいましょう。あきらめるのは、その後でも遅くありません。

・貸主は、借りてもらえる顧客が次年度も決まっていることに安心します。早めに交渉し落ち着き先を決めましょう。早めに交渉することで家賃も割り引いて頂けるかもしれません。

不動産事業社は、2月・3月になるととても忙しくなります。

福島県被災者のくらし再建相談ダイヤル : 0120-303-059

福島県東京事務所千葉駐在 : 080-5737-3015 小野

9月23日チャリティーコンサートの収支を報告します。

収入の部		支出の部		
予約券販売収入	198,000円	1,500円×132枚	会場費	57,260円
当日券販売収入	2,000円	2000円×1枚	広告宣伝費	65,664円
マイショップ手数料収入	830円		出演料	320,847円
手づくり品販売収入	7,400円		その他の支出	6,010円
補助金収入	300,000円			
収入合計	508,230円		支出合計	449,781円
			収支差額	58,449円

⇒収支差額 58,449円について、チャリティ分として松戸・東北交流サロン黄色いハンカチの活動に使わせていただきます。

1月14日(土)防災講座を実施します。講師のお話では、関東で大きな地震が起きた時、特にエネルギーとライフラインに伴う被害の復旧が長期化するかもしれないとの事です。詳しい内容は、講座で学びましょう。

避難者の体験記

連載!私はその時こうだった 松崎正明さん(福島県南相馬市) その2

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って頂き語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか?自分自身に問いかけて頂けたら幸いです。

その後、住むところは決まったものの犬は飼うことは出来ないのが次男(江戸川区)の友人が犬を預かってくれるところを探してくれた(友人に感謝)受け入れ先は「NPO法人アーク東京」3月22日に犬を預かりに来てくれた。その時私は人の住めないところに犬を置いてこれなかった。「よろしくお願ひします、お世話になります」と頭を下げた時、若い女性スタッフが涙をこぼし一緒に涙を拭いたことが今も忘れられない。

その3日後に大阪のNPO法人アニマルレフュジ関西に航空便で送ったと電話連絡があり、驚き翌日電話で確認、事情を話し、お世話になりますと伝えると気持ち良く引き受けてくれました。1年後に犬に会うため家族で大阪まで新幹線で新大阪、ク

ローカル線を2回乗り換え市川市内から約6時間かけ着いた駅は無人駅(大阪府の山の中)スタッフに迎えに来て頂き、車で20分位走り着いた。1年ぶりの犬との再会、涙の再会のはずが、いくらクリ(犬の名)と呼んでも知らぬ顔、覚えているのかいないのか覚えていずれば震災後、飼い主に捨てられたかと思っているかも、5~6時間一緒に散歩したところクリと呼ぶと尻尾を振るようになり震災前を思い出したのかもしれない。その日はホテルに1泊、スタッフの方に送迎して頂き、犬と再会し別れ市川に向かう。年に1~2回逢いに行き、先月も次男家族と逢いに行きました。又、犬に逢う日を楽しみにしています。

「被災者の皆さん、がんばろう」

受ける災害を軽減する工夫・家庭編は紙面の都合上お休みです。

みんなの広場

「ちょっと、待って～」

2011年3月11日東日本大震災、2016年4月14日熊本震災、人生は平穏と災いと背中合わせ、何にもかも食べ散らかし状態なのに今、オリンピック、パラリンピックなの？お祭り騒ぎはやめて下さい。偉そうにしないで、人を好きになり人を大切にすることの根本を忘れないで、ガラス張り、金魚鉢のような復興放送局から少しでも良いニュースを聞かして下さい。忘れる文字は心を亡くしているんです。 松戸市民 77才 女性

「チェルノブイリ法という希望」2

被災地住民には「移住権」「居住権」が強制ではなく、任意に認められ、これは日本でもロシアでも認められるべきことであるが、「帰還権」という概念も追求されることである。

翻って、日本では「チェルノブイリ法」という高嶺の花に憧れるのではなく、ソ連でもリクビダートル(原発事故収束作業員)や会員10万人を擁する「チェルノブイリ同盟」が、この法律を作ったように今からでも遅くはない。福島原発の収束作業員、数々の支援団体が、一致団結して権力の厚い壁を崩すべきではないだろうか。

松戸市 増田博光

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちが和らぎ、心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーを作りました。日々の暮らし感じた想い不安や不満を本音で書いていただきました。

新講座!

植物の成長の基本一人と比べて

講師 守谷松次さん グリーンアドバイザー
(千葉大学大学院園芸学研究所修士課程修了)

日時 12月21日(水) 13時30分～

お仕事を退職後15年、200種の野菜、花、果樹の栽培をされたそうです。当日は皆さんの質問にも答えていただきます。2017年3月以降は毎月定期的に講座を開設していただく予定です。



お知らせ

健康講座

野菜と果物を摂ってアンチ・エイジング

日時:12月15日(木)14時30分～15時30分

会場:松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」

講師:泉本浩史先生

松戸市立病院心臓血管外科部長

アンチ・エイジングとは老化に対抗するという意味で野菜と果物の摂り方をテーマに心臓血管外科の先生がお話をさせていただきます!

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」12月予定表

日時	内容	講師
1日(木) 13時30分～	カラー講座 「年末年始をちょっと素敵に 気になるけど似合うかな?気になる物を持ち寄ろう」	NPO 法人四季彩倶楽部 山川やえ子さん
6日(火) 13時30分	歌の日 みんなで楽しく歌いましょう。	市民ボランティア 前田洋子さん
13日(火) 13時30分～	手芸の日 ばね口金の小物入れ作り	市民ボランティア 戸丸栄子さん
14日・28日(水) 13時30分～	初めての囲碁教室	市民ボランティア 今田靖雄さん
15日(木) 14時30分	健康講座 野菜と果物を摂って! アンチ・エイジング	松戸市立病院 泉本浩史先生
21日(水) 13時30分～	植物の成長の基本 人と比べて	守谷松次さん グリーンアドバイザー
22日(火) 13時30分～	お茶の文化を楽しむ 歴史ある中国茶を楽しみましょう	市民ボランティア 友山邦雄さん
27日(火) 13時30分～	自主避難交流会 住宅支援を中心に考えます。	市民の皆さんも一緒に 考えましょう。
毎週金曜日	相談日(予約制) 法律、仕事、年金など専門家につなぎます。	相談員 古宮保子さん

交流サロン黄色いハンカチは12月28日(水)が今年最後のオープン日です。2017年の最初のオープン日は1月4日(水)になります。

「片付けに夢はあるのか」

江戸時代に杉田玄白は「解体新書」を翻訳したが、かなり難儀したという。が、どんなにか夢があったのではないだろうか。私の家は来年度中に解体するようだ。夢?新しい家を作る為の必要作業と冷やかに思うだけ。長年住み慣れ、不便さ、不要な品々、無意味と思える空間であっても、当たり前前の建物を壊すのだ。5年半もほったらかしだから、つまりは無くて生活出来る。が、今はどう片づけるか、処分するかは悩みの種、捨てがたいのは愛着、思い出があるからで形あるものを無にするのは勿体ないし物に心=魂が宿っていると思ってしまう。今、流行しかけているミニマリスとにまでいかずとも、断捨離する絶好の機会と思えば有り難いかもしれないが、なぜ片づけるのかと腹立たしく思うのを止めることが出来ない。 避難生活6年目の女性

「あれも人災、これも人災」

豊洲問題の中でも移転延長でテナント料も当然だが冷凍設備の件も大変なことになっている。以前より11月移転の為、何ヶ月も前から準備していた冷凍も「50年は冷凍し続けなければならない、途中で止められない」とのこと。その月額経費1200万円!!賠償として何もかも、国民の血税が使われていく。この構図、原発問題と類似している。

又しても、あれも人災、これも人災、どれだけ人様の金を使ったら済むのか?関係者は責任逃れをして隠蔽工作、名声と利権まみれで自分の蓄財に一生懸命励んでいる実態、この底なしの強欲ぶりは、もはや天誅しかないのか?この者達には人の血と言うものが流れているのか?復興なんてかけらもない。 福島県 憂国の民 男性

黄色いハンカチのHP・黄色いハンカチブログ・黄色いハンカチフェイスブック開設。ご覧ください。

紙面に載せきれない情報も掲載!

■アクセスマップ■

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」

松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2F)



●毎週月～木 10時～16時オープン。
利用は1回100円です。